

一般財団法人 C.W.ニコル・アフアの森財団 野口 理佐子 氏 講演概要
「森の再生から地域創生へ」

2016.01.24

【概要】

C.W ニコルは、黒姫、飯縄山の麓で 30 年前より、生態系の維持、森の生産性を高めるために森を再生する活動を行っている。

もともと自然の恵みと共生していた日本人の暮らしが変化し、森林が伐採され、そのまま放置されたことで、生態系が変化してしまった。命が溢れる森に甦らせたいとの思いから活動を行い、森を整備することで、58種の絶滅危惧種が戻ってきた。

いい森は子どもたちを育て、人の心も豊かにする。つまり森の再生活動は心の再生活動である。

【現在取り組んでいること】

森を拠点とした地域創生のために、馬を使った活動を行っている。

税金を使って多くの国有林がだめになり、機械を使って間伐することで、木がだめになるという悪循環が生まれている。

そこで馬に注目し、間伐材の運搬を馬に行わせることによる自然の林道づくりや、馬糞によるマッシュルームの発生の効果や、ホーストレッキングなどでの体験や観光誘致が期待できる。ホースセラピーという医療でも使われていることからいろいろな可能性での地域創生が期待できる。



<http://www.afan.or.jp/>